

# スクールリーダー育成のための基礎講座

<https://www.kyodai-original.co.jp/?p=3866>

2日間の集中講座で、スクールリーダー（教育委員会指導主事、学校管理職・研究主任、地域の教育サークルのリーダーなど）に求められる知見の基礎を学習します。2019年度は、「『チーム学校』時代の心の教育」に関して講演を提供いたします。また、カリキュラム・マネジメント、授業づくり、パフォーマンス評価について、ワークショップ（講義・演習）を行います。

ふるってご参加ください。



## 主催

京都大学大学院教育学研究科  
教育実践コラボレーション・センター  
E.FORUM

## 運営

京大オリジナル株式会社

## 申込先

京大オリジナルのウェブページ  
([https://www.kyodai-original.co.jp/?page\\_id=2180](https://www.kyodai-original.co.jp/?page_id=2180))

## 申込受付期間

2019年6月3日（月）～7月22日（月）  
（定員に達し次第締切）

## 問合せ先

京大オリジナル株式会社 研修講習事業部  
Tel:075-753-7778  
E-mail: kensyu@kyodai-original.co.jp

**日程** 2019年8月17日（土）～18日（日）

**対象** 学校・教育委員会の関係者、学生など100名程度

**会場** 京都大学吉田南キャンパス  
人間・環境学研究科 地下大講義室

**受講料** 2日間15,000円（税込） 1日のみ9,000円（税込）

※銀行振込

※懇親会参加ご希望の方は別途参加費3,000円が必要です。

また、各日お弁当（1個1,000円）をご用意できます。

受講料と併せて銀行振込にてお支払いいただきますようお願いいたします  
（当日、現金でのお支払いは受け付けておりません）。

※振込先等の詳細については、お申込み受付の際に事務局からお送りするメールにてお知らせいたします。

尚、本学都合以外での入金後の返金は一切できません。何卒ご了承くださいませ。

## プログラム

### 8月17日（土）人間・環境学研究科 地下大講義室

時間	内容	
9:15-9:45	受付	
9:45-10:00	オープニング	
10:00-12:00	ワークショップ 「若い教師に伝えたい授業づくりの発想」	講師:石井 英真
12:00-13:30	昼休み（お弁当1,000円※）	
13:30-15:00	ワークショップ 「カリキュラム・マネジメントとの向き合い方」	講師:服部 憲児
15:15-16:45	講演「『チーム学校』時代の心の教育」	講師:桑原 知子
17:00-18:30	懇親会（会場:カンフォーラ）参加費3,000円※	

### 8月18日（日）人間・環境学研究科 地下大講義室

時間	内容	
9:30-10:00	受付	
10:00-12:00	ワークショップ 「パフォーマンス評価入門—教科教育を中心に」	講師:西岡加名恵
12:00-13:30	昼休み（お弁当1,000円※）	
13:30-16:30	「パフォーマンス評価入門—教科教育を中心に」 （*14:15-15:30 グループワーク A「教科におけるパフォーマンス課題の実践」/ B「学校課題を解決するマネジメント」）	講師:西岡加名恵 *講師:A 北原琢也・田中容子 B 盛永俊弘

## 8月17日(土) 人間・環境学研究科 地下大講義室

### 10:00~12:00 ワークショップ「若い教師に伝えたい授業づくりの発想」

都市部を中心に教師の世代交代が急速に進行しています。その中で、若手教師に授業づくりの基本的な技や考え方をどう伝承するかが課題となっています。本セッションでは、授業づくりの骨格となる思考のフレームを紹介するとともに、教材研究をどう進めるか、学習者のつまづきをどう読み解くかといった、授業づくりにおける基本的な考え方について、ワークショップ的な演習を通して学びます。また、「教科する (do a subject)」授業をキーワードに、授業づくりの今後の方向性についても説明します。

**【主な著書】**『今求められる学力と学びとは—コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影』(単著、日本標準、2015年)、『増補版・現代アメリカにおける学力形成論の展開』(単著、東信堂、2015年)、『中教審「答申」を読み解く』(単著、日本標準、2017年)、『教師の資質・能力を高める!アクティブ・ラーニングを超えていく「研究する」教師へ』(編著、日本標準、2017年)など。

いしい てるまさ  
石井 英真 准教授



学力形成の理論と実践について研究しています。このような視点から算数・数学教育にも関心を持っています。本研修が、それぞれの学校のカリキュラム開発を支え励ますものになることを願っています。

### 13:30~15:00 ワークショップ「カリキュラム・マネジメントとの向き合い方」

「カリキュラム・マネジメント」なるものが教育界を賑わせています。学習指導要領の理念を実現するためにこれが不可欠だとされています。教育課程を中核とする学校改善という発想は今に始まったことではありません。ただ、今時とりわけ求められているのは、社会に開かれた教育課程、教科横断的な視点、様々な教育資源の効果的な活用などです。つまり、より広い視野が教員に求められています。このような状況にどう対処すれば良いのか。これを質の高い学びにどう結びつけるか。そこにはどのような課題があるのか。本セッションでは、政策動向や関連事項について確認した上で、カリキュラム・マネジメントとどう向き合うかを、一緒に考えていきたいと思います。

※勤務校の学校教育目標がわかるもの(パンフレット類、学校通信類、HPなど)を資料として持参してください。また、学校教育目標を達成するための取り組みなどについて、簡単に説明できるようにしておいていただくとより良いです。

**【主な著書】**『フランスCNEによる大学評価の研究』(単著、大阪大学出版会、2012年)、『学生と楽しむ大学教育』(共著、ナカニシヤ出版、2013年)、『教育行政提要(平成版)』(共編著、協同出版、2016年)など。

はっとり けんじ  
服部 憲児 准教授



教育制度・教育政策の研究をしています。今日、教育を取り巻く環境にはたいへん厳しいものがあります。その現実を直視しつつも、元気が出るような制度や政策を作っていく手がかりを模索しています。

### 15:15~16:45 講演「『チーム学校』時代の心の教育」

特別な支援が必要な子どもたちへの対応、さらには、子どもたちの心をいかに育てていくのかという課題は、現在最も教師を悩ませているものの一つではないでしょうか。

文部科学省は、「チーム学校」というアイデアのもと、学校の中で様々な職種が連携しあって子どもたちに対応することを求めています。これは、理屈としてはわかるようであっても実際に現場でどのように対応していくのかということを考えてみると、そう簡単なことではありません。

今回は、心の専門家と教師がどのように連携するのか、教師はどのように心の教育に携わっていくのかということについて考えてみたいと思います。

**【主な著書】**『教室で生かす カウンセリング・マインド』(単著、日本評論社、1999年)、『教室で生かす カウンセリング・アプローチ』(単著、日本評論社、2016年)、『カウンセリングで何がおこっているのか』(単著、日本評論社、2010年)など。

くわばら ともこ  
桑原 知子 教授



臨床心理学を専門として研究し、特に学校現場においてこころの問題にどのように関わっていけばいいのかを考えてきました。また教師ができるカウンセリング・アプローチはどのようなものか、ということ、実践を通して考えています。

## 8月18日(日) 人間・環境学研究科 地下大講義室

### 10:00~12:00/13:30~16:30 ワークショップ「パフォーマンス評価入門—教科教育を中心に」

学習指導要領の2017・2018年改訂においては、「資質・能力のバランスのとれた学習評価」を行っていくために、パフォーマンス評価を取り入れることが推奨されました。本セッションでは、典型的なパフォーマンス評価の方法として教科で用いられるパフォーマンス課題の作り方を体験的に学んでいただきます。また、ルーブリック(評価指標)の作成方法やポートフォリオの活用方法についてもご説明します。

※ご希望の学年・教科の教科書、学習指導要領など、単元指導案づくりに役立つような資料をご持参ください。

#### 【14:15~15:30 グループワーク】

A: 教科におけるパフォーマンス課題の実践

(担当: 北原琢也 特任教授、田中容子 特任教授)

B: 学校課題を解決するマネジメント(担当: 盛永俊弘 特任教授) <演習室233>

※グループBに参加希望の方は、解決したい学校課題に関する資料などもご持参ください。

にしおか かなえ  
西岡 加名恵 教授



専門は教育方法学(カリキュラム論・教育評価論)です。パフォーマンス評価の研究開発、学校におけるカリキュラム改善の進め方などに関心を持っています。本研修が、全国の先生方の有意義な交流の場ともなることを願っています。

**【主な著書】**『教科と総合学習のカリキュラム設計』(単著、図書文化、2016年)、『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価』(編著、明治図書、2016年)、翻訳『理解をもたらすカリキュラム設計』(日本標準、2012年)も刊行。